



毎月第3主日は日本キリスト教団の定めた「日本伝道の推進を祈る日」です

共に祈るために

全国17教区が取り組んでいる伝道の働きを2教区（東京は支区）ずつ紹介します。全国の教区・教会・伝道所を覚えて祈りをあわせましょう。

献金についての問い合わせは
日本基督教団事務局まで（TEL 03-3202-0541）

日本基督教団伝道推進基本方針

- 祈禱運動 共に祈ろう
- 信徒運動 共に伝えよう
- 献金運動 共に献げよう

「日本基督教団全国伝道推進献金」
振替口座 00140-7-293436

祈りの課題

西中国教区

- 平和と自由と正義が実現し御国が到来するように。
- 一人が大切にされる世界となるように。
- 教会が、重荷を負う人が休める場となるように。

郵便振替 01330-6-14659

「日本基督教団西中国教区」

東中国教区

- 将来的に東中国宣教の4つの骨子の働きが守られるように。特に稼働し始めたオンラインサポートチームの働きと、「教会お訪ね隊」の働きが支えられるように。
- 教会強化特別資金運用特設委員会の働きが支えられるように。

郵便振替01230-8-16374

「日本基督教団東中国教区」

東中国教区

東中国教区の特徴の一つはキリスト教学校が無い、ということですが。教会付属の幼稚園などの施設はありますし、付帯施設のある教会の働きはこの教区にあつては決して小さなものではありません。しかし例えば、キリスト教学校の生徒が授業の一環として礼拝に出席するということがありません。それゆえに若年層には教会の側から常にアプローチするという状況に置かれており、どのように招くか、また受け入れるかどの教会でも課題となっています。

教区の働きとしてはこれまでも青年キャンプを開催してきました。YMCAとの関わりの中で、大学生スタッフとの関わりも無いわけではないのですが、そこでのつながりが広がりにくいという状況を抱えているのが実情です。

こういった現状から、教区の課題として青年伝道も話題には上ります。しかし東中国教区はかねてより通過教区と呼ばれることがあるのです。比較的若い教師が着任してもしばらくの後に転任してしまうことが多いため、青年伝道に関わる人材がなかなか育たないという環境もあります。

西中国教区

国道9号線を北上し、山口県庁前を過ぎ、右にあるのが自衛隊山口地方協力本部で、左にあるのが山口県護国神社です。1973年、これらに一人の信徒が闘いを挑みました。山口自衛官合祀拒否訴訟の元原告・中谷康子さん（当時山口信愛教会員）です。訴訟の結果は、88年最高裁で逆転敗訴。夫・孝文さんは康子さんの意思に反して同神社に祀られたままです。しかしその自由を求める闘いは、細々とでも今につながっています。

そして50年後の2023年、わたしの呼びかけに応じて、8名が原告となり、山口



2019年のワークキャンプ。前年の西日本豪雨に対する支援拠点となった「まびくら」の清掃奉仕

若年層がいないうわけではありません。同じ地区の他教派の青年集会には青年たちが集まっています。その意味からも長期にわたって若年層と関わり続けられる教師、人材の発掘、育成が重要だと思われれます。教区としてはこの「通過」の状況を少しでも改善すべく、教師が少しでも長く教区にとどまれることを願って教会強化資金運用規定を改定するなど、教区の体質の改善を工夫しているところです。地味で地道な働きかもしれませんが、この働きが次世代への伝道につながってくれば、ということをお願いしています。祈りのうちに覚えていただければ幸いです。

（東中国教区総会議長 服部修）

県知事護国神社公務参拝違憲訴訟を提起しました。それは、毎年繰り返される知事等の山口県護国神社への公務参拝が憲法20条が規定する政教分離原則違反であり、信教の自由を侵害する行為であることを明らかにするために。また、護国神社及び靖国神社の教義そのものの違憲性を明らかにすることを通して、そこに囚われている人々を解放することを目指しています。同時にそれは、隣人との関係を阻害し続けている国会議員らの靖国神社参拝の見直しの実現につながっていくものでもあります。さらに、少し大げさに言えば、成功や所有が至上の価値とされる世界に囚われている人々の解放の実現にもつながるのです。

「伝道」と言いながら、人を得ることばかりを言う状況は要注意です。成功や所有の世界に囚われている現れだからです。子どもや若者についての話がすぐに「どうやって得ようか」になるのは、自己を肥大化させようとする集団と同質なのです。もともとそれを「思う」自由は保障されていますし、わたしにもその願望はわかります。しかしキリストの教会は、これから生まれる人々に希望を示すものでありたいと思います。（西中国教区総会議長 小畑太作）